

「 「 「 「  
「 「 「  
「 「  
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第35号 2019年4月1日

4月になりました。新年度になり国や公共機関の「会計年度」や「学校年度」なども切り替わります。

ところで、4月1日から新年度となるのに、なぜ4月1日生まれは「早生まれ」扱いで1つ上の学年になるのでしょうか。その秘密は「満年齢」の定義（誕生日前日の午後12時をもって1歳を加える）によるそうです。

（先日のNHK「チコちゃんに叱られる！」でも放映されていました）

人生のいろんなイベントが集中するこの時期は門出の季節とも言えます。何か新しいことを始めるにもいい時期ですね。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第35号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
  - ◆第39回コンサート
- 【2】今後の予定（先取り情報）
  - ◆第40回コンサート
  - ◆第41回コンサート
- 【3】世界一難しい木管楽器『オーボエ』
- 【4】コンサートのアンケートから

【1】次回コンサートのご案内

■■第39回コンサート■■

◇2019年5月19日（日曜日）

14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：荒木奏美（オーボエ）、宇根美沙恵（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆テレマン：ソナタ 変ホ長調

◆シューマン：3つのロマンス Op. 94

◆シューマン：歌曲集「リーダークライス」Op. 39より《森の語らい》

◆カリヴォダ：ディヴェルティメント Op. 58

◆ドラティ：「5つの小品」より I. アリとセミ V. 手品

◆ハース：オーボエとピアノのための組曲 Op. 17

◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円

◇会場：大倉山記念館ホール

第39回ジョイフルコンサートは

『荒木奏美 オーボエ リサイタル～バロックから現代、哀愁から諧謔 オーボエの魅力との新たなる出会い』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*

メッセージが届いています

\*\*\*\*\*

こんにちは。オーボエの荒木奏美です。

みなさまはオーボエにどのようなイメージをお持ちでしょうか？

やはり哀愁のメロディーが思い浮かべられますか？

今回のコンサートでは、楽器のもつ様々な表情を感じて頂きたい、バロックから近代までの幅広い曲を選びました。シューマンの名曲もあります。あまり皆さまに馴染み

のないかもしれないP.ハースの組曲はとてもメッセージ性の強い作品です。  
どうぞお楽しみに、そして会場でお会いできるのを楽しみにしております。

\*\*\*\*\*

今回のジョイフルコンサートはオーボエとピアノの演奏です。幅広い年代の曲から構成されたプログラムで音楽史をたどれるかのようです。私自身はシューマン以外の作曲家の名前を初めて聞きました。どんな曲かとても楽しみです。

●ハース/オーボエとピアノのための組曲 Op. 17

☆パヴェル・ハース

演奏者の荒木さんがメッセージでご自身がP.ハースと書いてらっしゃいます。それだけ思い入れも深いのかと思い、ハースを調べました。

ハースはチェコのユダヤ人靴職人の息子として生まれました。ブルノ音楽院で学び、更に晩年のレオシュ・ヤナーチェクに学びました。家業の靴製造を手伝いながら、交響曲からオペラまでありとあらゆる曲を作りました。ただ残念なことにほとんどの曲は未整理の状態だったそうです。

そしてなんと残酷な事かと思うのですが、ユダヤ系でロシア系のハースはナチスから「頹廢作曲家」の烙印を押され、1941年にテレジンの強制収容所に送られることになってしまいます。

チェコスロバキアのズデーテン地方は1938年から1945年にナチス・ドイツに併合されていた歴史があるのですね。

テレジン収容所内でもハースは作曲、指揮など音楽活動を続けます。しかしナチスのプロパガンダ映画「総統はユダヤ人にこの街を贈られた」の制作に関わる作業が終わると、18,000人の収容者と一緒にアウシュビッツに送られ、ガス室で殺されてしまいます。45歳でした。

そのためハースは「アウシュビッツで殺された悲劇の作曲家」と呼ばれています。

その後どんなにか音楽にも社会にも貢献できた有能な才能がこのように絶たれてしまったのは本当に心が痛みます。

☆オーボエとピアノのための組曲 Op. 17

1939年第二次世界大戦が勃発した年の秋に書かれた作品で、革新的なピアノパートと、心に訴えるオーボエが強烈な印象を残し、オーボエファンに人気の作品だそうです。

聴いてみると個人的にはそれほど激しい感じの曲ではないと思うのですが、何とも摩訶不思議な音の組み合わせで曲が進んでいきます。まるで自分の運命を薄々感じて、不条理で理不尽なものへの怒りや焦り、諦め、悟りがあったのか、その時の心情を想像するととても苦しいです。

穏やかな日常にとっても感謝したくなりました。  
いろいろな思いを馳せながら聴いていただきたいです。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

-----  
【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第40回コンサート■■

◇2019年7月21日（日曜日）

- ◇出演：務川慧悟（ピアノ）  
◇プログラム（予定）  
◆シューマン：子供の情景Op. 15  
◆ブラームス：4つの小品Op. 119  
◆ラヴェル：マ・メール・ロア（務川慧悟編曲）  
◆ドビュッシー：前奏曲集（第2集より）

★予約受付開始：2019年5月20日（月曜日）午前9時より

■■第41回コンサート■■

- ◇2019年9月15日（日曜日）  
◇出演：戸澤采紀（ヴァイオリン）、鳥羽亜矢子（ピアノ）

【3】世界一難しい木管楽器『オーボエ』

黒い木のボディに銀色に輝くキーの複雑な組み合わせが美しい外観のオーボエ。哀愁を帯びた丸い甘美な音色から軽やかに華やかな音色まで多彩な音を聴かせてくれます。「世界一難しい木管楽器」としてギネスブックにも登録されています。

オーボエは2枚のリード（ダブルリード）を使って音を出す木管楽器です。オーボエの名称はフランス語の hautbois（オーボワ）に由来し、「高音（または大音量）の木管楽器」を意味します。オーボエの全長は60cm、重さは680gくらいです。

オーボエのリードは市販品もありますが、多くの演奏者はリードが演奏を左右することを知っているため、素材（葦）や半完成品から自分に合ったものを作ることが多いと言われています。楽器の練習と同じくらい、葦を削って作るリード作りは大変だそうです。リードは消耗品なので常に10数本のストックが必要で、いつもリード作りに追われているようです。

オーボエの祖先は「ショーム」という民族楽器で、中世からルネッサンス期のヨーロッパで野外で演奏される楽器でした。これを室内用に上品に改良したのがオーボエで、改良は現代まで続き、キーの数は増え、どんどん複雑な構造になってきました。今では、部品が400～500個、キーも25個になりました。

オーボエの仲間に「イングリッシュ・ホルン」と「オーボエ・ダモーレ」があります。チャイコフスキーの『白鳥の湖』の「情景」の有名なソロはオーボエですが、ドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』第2楽章のソロはイングリッシュ・ホルンで吹かれています。イングリッシュ・ホルンはオーボエより完全5度低い音域の楽器（F管）で、長さは80cm、重さは1060gくらいです。ベル（楽器の先端部）が球根形をしているため、柔らかく牧歌的な音色がします。

オーボエ・ダモーレは「愛のオーボエ」の名称を持ち、オーボエより短3度低い楽器（A管）で、イングリッシュ・ホルンを一回り小さくした楽器です。ベルは球根形で音色は「上品なオーボエ」とか「甘い音」とか言われます。ラヴェル『ボレロ』ではこれを使っています。イングリッシュ・ホルンもオーボエ・ダモーレもオーボエ奏者が持ち替えて吹きます。

オーケストラでチューニング（音合わせ）をする時にはじめに音を出すのがオーボエです。その音に合わせてコンサートマスターがヴァイオリンを弾いて他の楽器が合わせていきます。弦楽器は温度や湿度の影響を受けてピッチ（音の高低）が不安定なので、最初の音は管楽器がする方がよいということになり、管楽器の中ではオーボエは管の抜き差しによってピッチの微調整ができないので他の楽器に合わせられないからという理由でオーボエが最初の音を出します。また、オーボエの音が長くよく響いて聴こえやすいからという理由もあるようです。

オーボエが最初に出す音は「ラ」と決まっています。ラの音は、弦楽器が開放弦なのでピッチを合わせやすいのです。ラの音は440ヘルツが標準と決められていますが、

現代の多くのオーケストラは4 4 2～4 4 4ヘルツでチューニングしているようです。ピッチが上がると音が華やかになるからです。(のん)

---

#### 【4】コンサートのアンケートから

---

★前回のジョイフルコンサート（3月17日公演）

『ピアノ四重奏の世界～アンサンブルで味わう ドイツ音楽の響き』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」が75%と極めて高く、「良かった」も13%（残りは「無回答」12%）で、今回もとても好評でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『初めてきいた曲ばかりですが、とても楽しめ まさにジョイフルコンサートでした』  
『ハーモニーがとてもキレイです。息もぴったり合っていて美しく楽しい演奏でした。各楽器の特徴が各々に出ていて素晴らしかった』『モーツァルト・シューマン・ブラームス、ハーモニー、技能、最高の演奏でした。さすがにクオリティーの高い演奏を聴くと、こんなに幸せな気持ちになるものですね』『大曲を3曲も演奏して頂き、本当に聴きごたえがあり最高でした』『シューマンの最後は圧巻でした！！4つの楽器の音色が個性を発揮しているのがよくわかり、すばらしいハーモニーとなっていました』  
『聴きごたえのあるすばらしい演奏でした♪ 4人の息がとても合っている感じが伝わり、こちよい Concert でした』などと、称賛の書き込みが数多く寄せられました。

また、『このような企画をたてられた主催者にブラボー!! アップルティもおいしかった』『会場そのものに、空気感があり、気持ちよくクラシックの世界にひたれました。又、来たいです』『はじめて伺いましたが、とてもステキな場所で演奏を聴くことができ幸せでした♪』など、好意的メッセージも頂きました。ありがとうございました。  
アンケート回収数：52（回収率65%）

---

#### 【編集後記】

---

今年も「桜の季節」になりました。桜には野生種・自生種の「山桜」と、人の手で交配して作られた栽培品種・園芸品種の「里桜」があり、分類によっては600種を超えるそうです。

桜の楽しみ方もいろいろですね。昼間の桜も見事ですが、夜の桜もまた違う美しさがあります。満開もいいが、桜吹雪やその後のピンクのジュータン、水辺に浮かぶ花筏を愛でるのも桜の楽しみ方の醍醐味です。(お)

---

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら  
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

.....  
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
.....